

事業者向け

児童発達支援/放課後等デイサービス自己評価表

2026kozunomori

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの関係で適切であるか	○			運動療育を行う十分な広いスペースを確保している
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	○			基準を適切に満たし、安全面を十分に配慮して支援を行うようにしている
	3	生活空間は子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか	○			生活空間は構造化している。指定基準より、バリアフリー対象施設ではないが、教室内はバリアフリー化になっている。トイレ入口は段差が無い様に傾斜をつけるように加工をしている
	4	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			日々掃除しており、感染症対策として消毒も行っている
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○			なっている
	6	設備等へ安全を配慮した措置がなされているか（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収材の取付・階段手摺など）	○			窓ガラスに直接物が当たらないように格子を取り付けている。電灯は飛散防止のカバーを使用。下駄箱やテーブルカウンター等にもコーナーガードを取り付けている
業務 改善	7	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員間で相談をしながら、支援の共通理解を取ったり、職員会議で、ケース会議を行っている
	8	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	○			実施済み。ご意見は真摯に受け止め、今後の支援につなげていくよう職員間で共有している
	9	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○			日々情報共有はしており、最低月に1回職員会議を行っている
	10	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は実施していないが、今後検討していく
	11	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			実施済み
	12	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			運動研修や毎月実施している座学研修などを実施しており、研修後はレポートの提出とともに全職員へ共有している
	13	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○			作成しており、公表はHPで行っている
	14	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○			保護者様と面談を行い、共通理解を図った上で、日々の記録に基づき作成している
	15	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○			行っており、記録も残している
	16	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○			行っている
	17	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○			契約時に保護者の皆様にもご協力いただき、使用している

適切な支援の提供	18	個別支援計画には、児童発達支援／放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援／放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		実施済み
	19	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		利用者様の状況や特性等を鑑みて立案を行っている
	20	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○		本部指導の月毎の支援内容を基盤にして、その日利用する利用者に合わせてプログラムを提供できるようにしている
	21	活動場面ごとに課題を決め、設定して支援しているか	○		全体での活動場面での課題の他個々に携わる利用者の課題も支援している
	22	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	○		子どもの現在の様子から、職員と子供の課題について共有し、個別活動、集団活動を組み合わせ作成している
	23	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	○		運動リーダー、Instagram担当、送迎担当等の役割分担が多岐にわたるため日々の確認をしている。変更点や共有点が出た際は朝夕で確認をしている
	24	支援終了後には、職員間で打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	○		その日利用した利用者の様子を職員間で共有し、次回の療育へつなげている
	25	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援内容は日々の記録を付けて当日の状況が分かるようにしている。特に気になるケースに関しては毎月の職員会議でケース会議を開き共通理解をしている
	26	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		保護者の皆様にご協力いただき、面談やモニタリングをしながら定期的な個別支援計画の見直しを実施している
	27	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか	○		行っている
	28	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	○		行っている
	29	安全に運動遊びができるよう用具の使用方法や支援方法等に工夫や配慮をしているか	○		常勤職員に関しては運動指導検定を取得して支援方法を統一しながら怪我や事故に繋がらないように十分注意して補助を行い、工夫及び配慮した支援を行っている
	30	お子さんの特性に合わせた支援方法を個々に工夫しているか	○		個別支援計画に基づいて支援をしながら、運動療育では、当日の利用者の状況や特性等を考慮しながら一つでも成功体験が積めるように工夫している
31	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか	○		必要に応じて、児童発達支援管理責任者が中心になり、相談支援員と連絡を取り合っている	
32	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○		体制は整えており、必要に応じて対応している	
33	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在までは該当がないが、該当がでた場合は、主治医と連携を取っていく方針である	

関係機関や保護者との連携	34	与薬指示書の内容に変更等がないかなど、定期的に保護者へ確認をとっているか	○		現在、常時与薬をする該当がない。風邪薬等の与薬がある際には、必ず所定の投薬依頼書に記載していただき、保護者様に確認を取っている	
	35	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		併用している事業所と電話で連絡を取って特に気になる子どもの様子を情報交換したり、保育園、支援学校、学校等で情報交換を行っている	
	36	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		就学前に利用していた園とは必要に応じて相談員の方からの情報などを含めて共有するように心がけている	
	37	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校からのお手紙やFAXなども駆使しながら情報共有を行っている。送迎時に利用者の状況を共有し、連絡調整を行っている	
	38	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現在までは該当なし	
	39	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか	○		発達支援センターや地域の子育て支援センターと連携をし必要に応じて助言を受けている	
	40	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加できていないので、あった際には参加できるようにしていく
	41	保育所や認定こども園、幼稚園等、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか	○		地域の子育て広場へ遊びに行くイベントを計画し、来月実施予定	
	42	連絡帳を作成し、保護者へ活動の内容や様子を共有できているか	○		活動内容や様子についてはInstagramや送迎時に報告をしている。連絡帳は何かあった時のツールとしてお伝えしている	
	43	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に支援内容を含め利用者の様子などの状況を報告するようにしている。面談では今後の課題について話し合いをしている	
44	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		Instagramや送迎時に職員から家庭でもできる運動や指先のトレーニング遊びを紹介し、保護者からは「家でもやっています」との声を頂いている		
保護者へ	45	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時の説明ツールとして資料を提示して説明している。説明後のチェックシートに沿って実施している	
	46	個別支援計画を作成する際には子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○		契約の際には契約時に、見直しの際には面談時に確認をしている	
	47	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	○		行っており、保護者にサインをいただいている	
	48	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		何か相談したい事があれば面談はすぐに行う事を伝えている。また、助言に関して困った場合には相談支援員等にも相談し、利用日数なども変更しながら支援を行っている	
	49	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、兄弟同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか			○	現時点で保護者会を計画中(2ヵ月後開催の予定)

の 説 明 責 任 等	50	子どもや保護者からの苦情、相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			運営規定への記載の他に教室玄関への掲示、契約時にも資料提示とともに口頭でも説明している
	51	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			利用希望表にイベント情報などを記載し、日々の活動にはInstagram、ブログ等で配信し、防災訓練などのお知らせはLINE等でもお知らせしている。ご回答いただく場合には保護者宛文書を作成してお手紙を配布しながらご回答をいただくようにしている
	52	個人情報に十分注意しているか	○			利用者との同意書の取り交わし、HPに保護方針の記載他、職員間の同意書、ブログ作成時のWチェック等を行っている
	53	HP等へ写真を掲載することについて、同意書等へサインをいただくなどして同意を得られているか	○			契約時に利用者と同意書を取り交わし、説明を行い、同意を得ている
	54	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的に見やすいようにして説明を加えるなどの配慮を心がけている
	55	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域の方々を招待することが出来ずにいるが、同じビルのテナントの人には挨拶を交わしたりする交流は継続している
非 常 時 等 の 対 応	56	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			事業所内にマニュアルを壁掛で設置して閲覧出来る状況を作っている。保護者には契約時の他にLINEやお手紙等でも定期的に配信、説明を行っている
	57	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			BCPは策定しており、定期的に行われる委員会に見直しを行っている。月1回の教室内訓練及び消防本部に年2回届け出を提出して避難訓練を実施。定期的に行っており実施後は避難訓練の様子をブログで配信している。職員、利用者共々災害の意識が薄れないように月1で様々な訓練を想定し、実施している
	58	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員の虐待発見時は上司への報告だけでなく、直に担当機関への報告することを共有している。研修への参加の機会を与え、参加者は共有をしている。委員会も設置し、情報の共有、適切な支援方法の理解を深めている
	59	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、個別支援計画に記載しているか		○		現在は該当ないが、自・他傷行為などのおそれがある利用者がある場合は怪我や事故を防ぐために身体拘束を行う場合があることを保護者に説明し、承諾をもらうようにし、計画書に記載する
	60	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			契約時に確認している
	61	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者を通してアレルギーが出てしまう食材などを共通理解して注意している。食物アレルギーの利用者の場合は、持参物のみを食していただく対応をしている
	62	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○			安全計画は作成しており、定期的に見直しを行っている。また、研修も定期的に行っている
	63	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○			定期的にLINEにてお知らせし、様子はInstagram、ブログで配信している
64	ヒヤリハット記録を作成して事業所内で共有しているか	○			発生時の記録を作成し似たようなケースが起きないように共有している。月末には全事業所で共有している	